

平成18年3月15日

東洋エンジニアリング株式会社

## TEC・Toyo India 連合でインド向け大型LNG処理設備を受注 ～初めて自社の新技術を適用、高製品回収率を実現～

東洋エンジニアリング株式会社(TEC、取締役社長 山田 豊)は、インド現地法人トーヨーエンジニアリング・インディア社(Toyo India)と共同で、インド石油ガス公社(ONGC)が同国西海岸グジャラート州・ダヘッジに新設する、年間最大処理量500万トンのLNG処理設備をこの度受注いたしました。本設備は、同地区にてLNG受入基地を運営するペトロネットLNG社のLNGから石化原料となるエタンやLPG留分を回収する設備です。また今回の受注は、高い製品回収率を実現するTEC独自のガス分離技術「コアフラックス技術(COREFLUX™-LNG)」が適用される最初のプラントです。創立以来30年の歴史を持ち、インド国内でもトップクラスのエンジニアリング会社と認知されているToyo Indiaとの協力の下、今後投資拡大が期待されるインド市場で、当社は積極的にビジネス展開を図ってまいります。

### < 受注概要 >

客先： インド石油ガス公社(ONGC：Oil and Natural Gas Corporation)

受注者： TEC及びインド現地法人トーヨーエンジニアリング・インディア社(共同受注)

対象設備： 年間最大処理量500万トンLNG処理設備(エタン・プロパン・ブタンを回収)

建設地： インド、グジャラート州ダヘッジ(ムンバイから北へ約300Km)

< ペトロネットLNG社のLNG受入基地の隣接地 >

適用技術： TEC新開発のガス分離技術「コアフラックス技術(COREFLUX™-LNG)」適用

役務内容： 設計、機器資材の調達および工事までの一括請負

プラントの完成： 2008年央の予定

### 受注の意義：

\* Toyo IndiaとTECが共同で受注した大型設備

\* 高い製品回収率を実現するTEC独自のガス分離技術「コアフラックス技術」適用の第一号

\* LNGから石化原料を回収する設備としての初の大型設備

\* 本設備からの製品は近隣の石油化学工場で使用され、新規石化設備への投資も期待

以上